

刊夕 日六廿月四



定価 一部金五銭 金五銭 郵五銭  
廣告料 五銭 十二号 一行 金五銭  
日曜 祭日の翌日 休刊  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

### 子供の悪戯 に就て

山本 司郎

子供の悪戯は、一々取り  
擧げて問責すべきものと許  
りとは限らない、大人が見  
てはいけないことでも、子  
供の世界では、普通事であ  
り、歓迎すべきことであつたり  
奨励すべきことであつたり  
する。

悪戯は一つの創作であり  
自分の發案であり、工夫で  
あり、成長發達の道程でも  
あるのだ。彼の世界の發明  
王であつたエヂソンなどは  
大人になつても悪戯を止め  
なかつた。彼は自分の發明  
したいろ／＼のもので人々  
を驚かすことに、ひどく興  
味をもつてゐた。又ある時  
などは、往來の人を電氣に  
かけて驚かせるやうな悪戯  
もやつたりしたと云ふ事だ  
ある。又フシントンの幼年  
時に父の大切な櫻の木を切  
つた話も有名である。

悪戯を區別すると、個人  
でやるか、團體でやるかの  
區別がある。細かい点は選  
けるとして、先づいたづら  
の區別を大體に分けると、  
恐れさすいたづら、吃驚さ  
せるいたづら、騙すいたづ  
ら、困らせるいたづら、計

略にかけるいたづら、馬鹿  
にしたり、冷かしたりする  
いたづら、物を破壊するい  
たづら、不思議がらせるい  
たづら、反抗したり反對し  
たりするいたづら、闘争的

○明日の献立○  
○味噌汁——若芽 小付  
やきのり

【晝】牛肉醬油漬 花らつき  
よう

【晚】煮物——蝶 あられ生  
姜 こまよこし 芹

ないたづらなどである。  
以上のものは主として男  
の子供のいたづらであるが  
女の子供にあつて、男の子  
供にないもので、餘計なこ  
とをするといふいたづらが  
ある。これは男の子供には  
殆んどないことで、又男の  
子供にあるとしてもその動  
機が全然違つてゐる。

女の子供のいたづらでは  
おどす、騙す、計略をかけ  
る、排斥するなどの類が多  
い、男の子供のいたづら百  
三十三種類の事柄を研究し  
女の子供の五十七種のいた  
づらの内容に就いて研究し  
比較した結果を見ると、男  
の子供には亂暴なことをす  
るいたづらが多いが、女の  
子供には意地の悪い、いた  
づらが多いといふことであ  
る。

それから對照的に見ると  
男の子供は手當り次第、何  
でも相手にして行くが、女  
の子供は、自分の家族とか  
お友達とかいふ狭い範圍に  
限られてゐて、男の子供の  
方が相手が廣い。

そうして又男の子供はな  
か／＼計画的で、女の子供  
は感情的である。男の子供  
は大びらで非常に積極的  
であるが、女の子供は消極的  
で、こそ／＼とやるといつ  
た風である。男の子供には  
團體的仲間を作つてやるい  
たづらがなかく／＼多いが、  
女の子供は個人的のいたづ  
らが多い。

### 常磐文藝

俳句

鳥の巢

飯田 雨燈

鳥の巢や樹上の友を氣遣  
うて

湖上なる松樹に鳥の巢を  
探ね

毀れたる雛も飾るのびや  
かに

白酒に酔うて古雛を愛し  
けり

摘草や戻りの足の遅れが  
ち

野遊びや戀しき人の住む  
屋敷

初蛙ころ／＼と鳴く山路  
かな

見習生募集  
十四才より十六才迄

高橋時計店  
平町二丁目  
西村屋薬店  
トナリの  
トナリ

看護婦急派  
の求めに應  
じます  
平町南町  
電話三〇七

流线型五人車  
お待ち兼ねの卅五年式流线型  
第一車が入車致しました。  
是非御試乗の程願ひ上げます  
電話六四〇番  
尼子タクシー

力ヒ焼  
干やなぎ  
新發賣  
ウニ  
産雲丹みそ



最優最 賀日大 本日生 代理店 榮  
（三一二電）日丁四平

三五年型流線美の極致  
陸の王者  
流線ダツチ  
花と競ふその艶姿…乗心地

到  
着  
電話三二二番  
東京鐵道局公認  
不二タクシー



玉屋洋品店  
平町田町通電話五六六番

### 高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科  
平町田町 電話五一三番

### 外科科一般 金成醫院

金成 忠 義  
平鎌田町(電三五八)

# 一夜に

## 桑園が黒化

### 晩霜の危機を

#### 郡農會が注意

恐慌の連続と観念された本郡の春蠶も糸價の好轉やら桑園改植整理による桑葉の自然的生産限等によつて又芽をふき出さうとして居るこの矢先に當つて氣まぐれの天候で何時晩霜に襲はれ一夜に全桑園を黒化されるか測り知れないこの凍害の

## 稲刈り後に

### 敷地を買収

#### 測量は六月から

##### 待望の平小鐵道

關係地方民多年に亘る猛進動効を奏し本年度から實現する事となつた平、小名濱町間の所謂平小鐵道はいよいよ六月から東京建設事務所の手によつて實際測量が開始される事となり近く同事務所から技術部員數名が平保線區を臨時駐在所に當て、來平するが平小線は飽迄地方産業線として建設されるらしく建設費の軽減を第二として平町を基點に飯野、豊間、江名の片濱を迂回し小名濱町に至る模様で今秋の水稲鎌入れをま

#### 土木工事入札 平土

本監督所は入遠野村字石畑地内道路復舊工事並に上小川村堰の上橋の橋梁復舊工事等の入札を來月四日午前十一時より同所内で行ふ

#### 保護者會

##### 最後の總會

三校に分立か  
平町小學校保護者會は來月

十五日平第二小學校に總會を開くが同會は今後三校に分立する事が便宜であるとの説が多い模様であるから多分三校を合同した同保護者會の總會は是れが最後になるであらうと

## 好評の促成胡瓜

### 新販路開拓

本郡内の促成胡瓜の出荷は目下最盛期であり今月下旬になると一本二錢にガタ落ちるのが例であるが本年は満洲國皇帝陛下御來邦の景氣に煽られて一本三錢五厘方の商價を持続し好評を博し他地方へも新販路を擴張し今までの比較で約二割方の増収である

#### 種牝馬の奨励

石城國產馬組合は今回農林省畜産局より種牝馬奨励の爲め二百四十圓の交附金を支給された

## 警女通學生が

### 警笛會を組織

村よりの汽車通學生に「警笛會」を組織せしめ通學途中に於ける汽車の乗降其他の注意を圖ることとなつた

## 軍艦那珂は

### 六月十四日に入港

既報本年度郡下の海軍艦上點呼の爲め小名濱に入港する軍艦那珂の日程は六月十四日午前十一時半入港、十五日點呼を行ひ十六日午前八時宮城縣鹽釜港に出發と決定發表さるるに因に入港中

## 平町人事

△出生  
長橋町四二 寒風澤國治

## 活版 見習生

印刷 二名採用す  
年齢十五六歳  
希望者は來談あれ

## 常磐毎日印刷株式會社

平町長橋町  
電話六三〇

△堤ノ内二十 鈴木要吉(二七)氏 河沼郡八幡村字町尻塔崎鈴木キリ(二九)

## 素的!!! 寫眞技術の最尖端

### 「切手寫眞」突如デビュー

- 1 使用効果百パーセント、お名刺、御手紙、履歴書、紹介状、新婚其他の御挨拶状に貼付
  - 2 御旅行先から御便りの繪はかき貼られて興趣津々
  - 3 選舉運動印刷物に貼用、集金員の證明、工場内外商店ウチンドウの美觀を商品及印刷物に貼付宣傳用
  - 4 花街、カフェー其他社交方面の利用多々
  - 5 その他職業的、事務的、趣味的、宣傳用として利用法無限
- ◎あなたの御持ちの寫眞を一枚拜借願ひそれで作ります、(別に手輕く實費で新しく撮影も致します)
- 作製料金は一組(八十八枚)
- 宣傳中當分 壹圓五拾錢

## 平前 サクラ寫眞館

## 耳鼻咽喉科専門

平町町(電話六九一番)

## 山内醫院

醫學士 山内亨 吉

## 急告

### 保險外務員募集

◇御希望の方は左記へ御申込  
み下さい

## 愛國生命保險株式會社

警城代理店 松崎長三郎商店  
平町新川町 電一七二番

おとよしののちや 郷本

印刷の御用は設備完全の「常磐毎日」へ  
電話六三〇

洋食 度有難うございます  
エビフライ  
ピフテキ

茶 喫 宴會

女給數名募集  
コンパル  
平保前新道通

666・ET

# 海軍志願の採用兵決定

## 平町から三名

既報過般平第三小學校に於て執行された郡下の海軍志願兵採用試験の結果は既記の如く三十餘名の合格者を見たが其後更に横須賀鎮守府で選衛の結果今回正式採用者を水兵六名、機關兵十名、電信三名、主計兵二名、航空兵、看護兵各一名、計二十四名と決定、六月一日横須賀海軍團に入團する事になつた因に其の氏名左の如くである

（水兵）四倉若松巖 永戸 草野勇 鹿島高秋守政

高久青木安政 平松崎三郎 川部蛭田八二郎（電信兵） 四倉阿部傳 湯本越前好秋 勿來鈴木皆雄（航空兵） 草野小島衛（機關兵） 小川長瀬嘉藏 大野大和田正雄 四倉島田 湯本小室徳 磐崎小野勝郎 小名濱松本新太郎 赤井船一三 大里豊平田久勇 草野菊雄 勿來中野文一（主計兵） 四倉今井勝儀 小名濱高木三郎（看護兵） 内郷服部繁

# 列車の寸前に

## 無心の幼児 危い所を救ふ

伊藤本縣知事が表彰

川前村農會田徳重（三）さんは去る十日川前驛構内で列車の進行して来るのも知らずに遊んで居た同村大平貢（五）を救助した功に依り此程伊藤本縣知事より表彰された

# 磐女校の修學旅行

磐城高修學旅行 等女學校四年生百六十名は荒木、山口、鈴木、森、大内の諸教諭引卒の下に來月六日か

# 坑夫慰安

## 勿來の行列

勿來町大日本炭礦は明廿八日第五回従業員慰安の爲め提灯行列並に映畫會を催す外懸賞付假裝行列などがあ



明日のラジオ 廿七日

# 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間 童謡 水洞洞少女會（京城）  
後六、二五 基礎英語講座（九）岡倉由三郎  
後七、三〇 講演「日露戦役を回顧して海軍の使命

今晩も明日も北西の風天気好くなる

# 月末に休み続く

## サラリーマン大當り

山には蔵が握りこぶしをふり上げ川には乗り込む鮒が銀鱗を閃かすビクニツクの好季節、二十七日の靖國神社臨時大祭から三十日まで日曜祭日の連続でこのところサラリーマンの大當りである

二十八日は日曜、二十九日は天長節、三十日は靖國神社例祭

二十七日は休みになるか何うか官報に發表されないので氣を揉んでゐる始末、しかし、銀行は休みぬことに決定した、廿八、廿九日は完全に休み、三十日に半休、誰も彼もが遊びのプランたてに忙しい

# 大會出場の赤チヤンの資格

## 我れと思はん御家庭は

來月三日迄に申込れよ

平町では來月二日より一週間全國各町村一齊に催される第九回全國兒童愛護週間中の催しとして五月四日午後一時から田町藤田女學校内に開く平町主催赤ちやん

大會に出場出来る赤ちやんの資格は平町に在住する昭和八年四月卅日かち九年十月三十一日迄に生れた赤ちやんに限る由で我れと思はん御家庭では五月三日迄に

# 久振りのイワシに

## 水揚場は戦場の觀

先を競ふ數輛のトラツク 平町へ疾走し來る

小名濱町の鱈水揚は廿五日久し振りで多量にあつて活氣付き相場は下押で九十錢から七十錢を唱へ搬入船から籠に入れられるや數輛のトラツクは先を競つて平町其他に向けて出發水揚場はさながら戦場の觀を呈した

# 火藥窃取犯人を

誘ひ出して逮捕に助力 警察部長が金一封

既報去月八日赤井村川瀬炭礦に起つた火藥盜難事件に就いて同村福島炭礦人事係山部政之助、駒場金之助の兩氏は巧みに犯人李福童を誘ひ出し警官の逮捕を容易ならしめた功に依り此程島田警察部長より金一封を贈らる

奈良丸の一行に武藏野榮華徳川巴右衛門、瀧家小柳等の面々が加はつて關東浪曲名人特選會を催すが絶対に日延なく一行中の現代奈良丸は本郡小名濱町の出身の事として頗る前人氣が盛んであり四年前にも聚樂館で三日大入りを見た事がある

# 本郡出身の浪曲の名人

來月十日聚樂館に於いて津田清美、現代

# 平裁判たより

△茨城縣鹿島郡駒場村生れ 卒  
△牛乳配達 二十才 水産  
△事務員 三十二才 高卒  
△外交員 四十五才 高卒

# 平職業紹介所報告

回人を求める方  
△洋服販賣人 十七迄 高卒 仕着小遣  
△トラツク助手 二十三才 高卒 月五圓  
△水汲夫 五十迄 月五、六圓  
△中賣人 三十迄 尋卒 月給歩合 平均十四五圓  
△回職を求める方  
△車力 四十二才 尋卒  
△材木店員 四十五才 高卒  
△牛乳配達 二十才 水産  
△事務員 三十二才 高卒  
△外交員 四十五才 高卒



# 明治太平記

(無断複製 上及上讀)

(作) 寺島征史

第一〇八回

## 刺客ばやり (九)

「天竺、おぬしを頼だ、政府筋の大官と云ふのは、大久保だらう」

「いや大久保直接とは云はん、大久保の子分がおぬしに頼だらう」

「まあ、かつて推量するがよい。仕事をしたあとで、天下の形勢がどのやうに變らぬでもない。その結果を見てくれ」

天竺安藏は、自信ありげにうそぶいた。

「成程……俺の助太刀商賣として、順調に行くとな、天下の形勢ががらりと變るよおぬしの仕事と、いづれが先に成功するか、ひとつ競ひ合つて見ようか」

「よかる。どちらも天下に異變の生ずる種をまくのだから白いぞ」

「では、天竺」

大志賀は、一樂の着流しで、だが頭髪はぼうとのびわかた汚れた面、一見して地獄の底から来た事を思はせる顔かたちを、のつそりあるさだした。

「へ行つて仕事に掛るのだから、もし萬一身に危難の迫つた場合は、野毛の顔役新免祭五郎といふものにつたへる、きつと、俺達ア助にいく」

れぬのは、諸藩に溢れる浪人者、東京へ流込でくる失業浮浪の徒だ。なかでも、新政府倒壊、朝鮮征伐を題目とする明治勤王黨の一味が、官僚のきびしい警戒の眼を盗んで、久留米から、島原から、岡山から、土州から、中央の山から、さぐる爲に、續續と入りこんできた。彼等は、べつに、政府當路の征韓派と連絡があるわけではなく、したがつて西郷や、江藤の處へ出入りする筋合のものでもないから



ぬしも大事をとれ」

「懐手で、悠々と立去つた。雲井龍雄、原直鐵、大忍坊始め、外七名のもの死罪、のこる五十人ごとく、流刑に處し、新政府をくつがへさうといふ陰謀の一味をのぞいたが、一掃しき

丸山は、畑の顔を見と、いきなりいつた。「いや、官僚の嚴戒振は、いよ／＼眼立つて參りまし

たな、けれどもわれ／＼一味の背後には……」

「おつと、壁に耳があるぞ多くをいふまい」

「あつた……昨夜のあの偽壁には気がつかかなかつた」

「あのまゝ、船へもどらぬので、僕も大きに心配したしたが、まあ無事でよかつたのう」

### 子と春シヨールマツクダウンセール

中折	折
.60均	.90均
1.00均	1.40均
1.50均	2.00均
2.00均	

大黒屋

### 合着毛、綿メリヤスシャツ 出賣

冬シャツと春シャツとの交換期が參りました。肌ざわりのととも良い洗濯のきくシャツが取揃へました。

大黒屋

米國製劑皮膚病良藥

レメドール

阿康藥舖

病に勝て!!

河部藥舖